



新入生の減少が続く浜松市天竜区の浜松湖北高佐久間分校の生徒確保に向けた、学校関係者や地域住民による「佐久間分校魅力化委員会」の会合を取材した。

若者の意見を聞くため、在校生に加え、中山間地域の研究に取り組む静岡文化芸術大文化政策学部の船戸修一教授と同教授のゼミに所属する学

#### 若者の声生かして

生が初めて参加した。在校生からは、「SNSで佐久間の魅力発信を」「制服をかわいく」などの声が上がった。大学生は「地域全体で存続のための動きを見せること」、船戸教授は「(中学校などに) 営業をかけるべき」と提案した。

若者の声には、それぞれの学校存続への熱意がこもっていた。何らかの形で、彼らのアイデアが生かされればと願う。

(水窪支局・磐村光紀)

